

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要						
事業開始年度	昭和62年度～					
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり	根拠法令・例規等	図書館法 備前市立図書館設置条例 備前市立図書館設置条例施行規則	
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり	担当課(室)	中央公民館	
	小項目	施策	05 図書館・視聴覚ライブラリー	職・氏名	館長代理 山口晋作	
	事務事業名	01	図書館運営事業	電話	64-1133	
					このシート作成に要した時間	3.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内在住・在勤の市民
目的(何のために)	図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存した、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民の全てが、教養、調査研究、レクリエーション等のために図書館を利用し、心豊かに生きがいのある生涯学習を行ってもらうため。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するため実施した事業	図書館運営事業	市民に最も身近な図書館として地域の人々に読書をはじめとする情報サービスを提供し、人々が知識や情報を得たり、レクリエーションを楽しめるように助けることを目的とした事業。図書館利用者に対し、貸出・リクエスト・相互貸借・主催事業(読み聞かせや講座等)・レファレンス(各種問い合わせ)などの館内でのサービスの業務のほか、来館困難な遠方利用者への図書の移動図書館巡回サービス、絵本を通しての親子の触れ合いの大切さを説明し、乳児に絵本を手渡すブックスタート事業など。また、そのための図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存等の情報資料整備業務も行う。	
	県図書館協会負担金	岡山県立図書館をはじめとする公共・大学・学校・専門図書館・公民館を中心に組織された協会で、図書館事業の発展ならびに会員の資質向上を図り、県民の教養・文化の向上に寄与するため、図書館に関係のある調査研究や、講演会、講習会等の開催などの事業を行う。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		14,725	14,073	17,108	
	必要人員(人件費)	千円	1.41人	10,470	1.38人	10,611
	事業費		25,195	24,684	28,494	
	国県支出金					
	受益者負担				17	
	繰入金	千円				
その他( )					10	
一般財源			25,195	24,684	28,467	
受益者負担比率	%		-	-	0.1%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	結果指標量	事業	128,792	122,610	120,629	
	対前年比	%	96	95.2%	98.4%	
	活動コスト	円	25,195,000	24,684,000		
	単位当たりコスト		196	201	0	

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
		目標値(A)	3.5	3.5	3.5
図書1人当たりの貸出冊数	実績値(B)	3.2	3.1	3.1	到達目標値
	達成率(B/A)	91.43%	88.57%	88.57%	

成果指標設定の考え方・式や説明

岡山県内公共図書館調査(岡山県図書館協会)平成21年度(平成20年度分)によると奉仕人口1人あたりの貸出冊数の平均は5.2冊。現状をふまえて3.5冊を目標にする。図書1人あたりの貸出冊数=貸出冊数/人口

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託金)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		

事業の目的やその数値目標である成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	貸出冊数や目標実績数が横ばい状態だったので、定期的な読み聞かせや講座等の図書館行事の周知を進め、参加者と利用者及びボランティア数を増やしていきたい。また、子どもの読書活動の推進を進めていく。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
県立図書館利用の窓口サービスは増加傾向にある。それに関連して本市の予約(リクエスト)件数も増加している。職員の仕事の質とサービスの向上のため、司書の研修・連絡会を毎月行っていく。また、子どもの読書活動推進も進めていく。定期的な読み聞かせ行事等はボランティアへの呼びかけにより活性化を図り、参加者の増加へとつなげたい。更なる利用者を増やすために読書推進行事の見直しや図書館のPRにも一層力を入れる。	評価区分 <A~E>	B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	現状維持しながら、市民のための図書館の目的を果たすよう事業を進めていく。					